

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について（令和元年度）

1. 取組みの進捗状況

基本方針1：循環型社会の形成推進

基本施策1-①：発生抑制・資源化促進のための働きかけ

No.	具体的な取組み	実施時期		R元年度予定	H30年度実績
		H26～H30	R元～R5		
1	中間処理・最終処分状況の構成市への情報提供	年3回	→	推進会議3回、実務担当者会議の開催	推進会議を第1回5/23、第2回8/27、第3回2/28に開催
2	構成市の市民同士の情報交換会等の開催	年1回	→	一般廃棄物収集運搬許可業者情報連絡会の開催	構成市の一般廃棄物収集運搬許可業者に向けた情報連絡会を2/21に開催

基本施策1-②：新たな資源回収システムの検討

No.	具体的な取組み	実施時期		R元年度予定	H30年度実績
		H26～H30	R元～R5		
3	構成市との協働により剪定木の排出者に対し民間資源化施設の活用を促進	通年	→	搬入量把握、窓口等での情報提供及び民間資源化施設の情報収集	剪定木の搬入量把握、窓口での情報提供を実施
4	搬入された剪定木及び木製家具の資源化検討	完了	→	—	H28年度結論済
5	焼却灰の資源化の検討（エコセメント化等）	随時	→	落じん灰の有用金属について情報収集	H29年度報告書作成

基本施策1-③：最適なごみ処理のあり方等の調査研究・検討

No.	具体的な取組み	実施時期		R元年度予定	H30年度実績
		H26～H30	R元～R5		
6	最適なごみ処理のあり方や処理技術・資源化技術についての基礎調査（生ごみのバイオガス化等の検討・プラスチックごみの処理のあり方の検討等）	→	→	—	報告書を作成済み
7	ごみ処理広域化の検討	→	→	広域化ブロック協議会幹事会への出席	10/16、3/27の広域化ブロック協議会幹事会に出席

基本施策1-④：高効率なエネルギー回収の実施

No.	具体的な取組み	実施時期		R元年度予定	H30年度実績
		H26～H30	R元～R5		
8	施設の省エネルギー化	→	→	焼却施設プラットホームの照明を省電力仕様へ更新	破碎施設プラットホームの照明を省電力仕様へ更新
9	基幹的設備改良事業における施設の高効率化の検討	完了	→	—	CO ₂ 排出量3%以上削減可能な詳細仕様を決定

基本方針2：適正な中間処理及び最終処分の推進

基本施策2-①：適正な中間処理の推進

No.	具体的な取組み	実施時期		R元年度予定	H30年度実績
		H26～H30	R元～R5		
10	法令遵守の維持管理の実施と環境調査結果の公表	→	→	維持管理の実施と調査結果の公表	H30年度データ公表。
11	事業系不適物混入に対するごみ搬入検査の実施	→	→	ごみ搬入検査の実施（3月以上）	8/7、10/4、17、18、11/14、17に検査を実施（計65車）
12	事業系不適物混入に対する監視機能強化の検討	→	→	監視機能による啓蒙活動強化	ごみ検査の回数を増やし監視を強化した。
13	基幹的設備改良事業に関連する計画の策定と実施	→	→	施工監理業務委託を通じ実施状況確認	発注仕様書作成
14	中間処理施設更新の調査・検討	→	→	広域化ブロック協議会幹事会による方針確認	—

基本施策 2-②：適正な最終処分の実施

No.	具体的な取組み	実施時期		R 元年度予定	H30 年度実績
		H26～H30	R 元～R5		
15	法令遵守の維持管理の実施と環境調査結果の公表	→		維持管理の実施と調査結果の公表	H30 年度データ公表
16	費用対効果の検証に基づく ASECC 等の活用による最終処分場の延命化	→		ASECC 搬出量維持費用及び効果の再確認	5,898t を搬出報告書作成済み

基本施策 2-③：災害時に備えたごみ処理体制の検討

No.	具体的な取組み	実施時期		R 元年度予定	H30 年度実績
		H26～H30	R 元～R5		
17	事業継続計画（BCP）の検討	→	→	計画案作成	計画案検討中

基本施策 2-④：適正処理困難物への対応の検討

No.	具体的な取組み	実施時期		R 元年度予定	H30 年度実績
		H26～H30	R 元～R5		
18	受入基準の見直しと処理委託の検討	→	→	水銀含有廃製品の搬入量把握	処理困難物受入の本運用に問題ないことを確認

基本方針 3：市民・事業者がごみに関心を持ち行動するための働きかけ

基本施策 3-①：環境教育・環境学習に対する支援

No.	具体的な取組み	実施時期		R 元年度予定	H30 年度実績
		H26～H30	R 元～R5		
19	社会見学の受け入れと施設見学案内の充実	通年	新たな啓発の検討	社会見学の受入、マニュアルの見直し	マニュアルの見直し実施 見学受入実績 3,022 人
20	ごみ関連環境教育イベント等の開催	随時	→	長久手市の環境イベントへ参加予定	12/15 に尾張旭市生活展へ出展し、啓蒙活動を実施。

基本施策 3-②：ごみ処理に関する情報の発信

No.	具体的な取組み	実施時期		R 元年度予定	H30 年度実績
		H26～H30	R 元～R5		
21	ホームページを活用したごみ搬入量や進行管理のためのモニタリング指標等の情報発信	通年	→	モニタリング指標等の情報発信	H30 年度データ公表

2. 数値目標の進捗状況

項目	基準値 (平成 24 年度)	実績値 (平成 30 年度)	目標値 (平成 35 年度)
		目標値 (平成 30 年度)	
最終処分量 (地区外搬出を含む)	10,217t	9,263t	8,512t
		9,287t	
最終処分場残余率	77%	67.5%	50%
		62.7%	

※平成 28 年度の目標値は、平成 35 年度の目標値から算出したものです。

※上記「目標値(平成 35 年度)」は中間年度での計画見直し実施前の目標値であるため、計画策定当初の「平成」表記を使用しております。

3. モニタリング指標

項目		基準値 (平成 24 年度)	実績値 (平成 30 年度)
1 人 1 日あたりのごみ排出量 (家庭系+事業系) 家庭及び事業所からの総ごみ排出量(資源を除く)		726g/人・日	700g/人・日
焼却残渣率		13.8%	12.5%
中間処理段階の資源回収率	焼却施設	0.10% (69t)	0.23% (158t)
	粗大ごみ処理施設	24.8% (702t)	27.4% (923t)
廃棄物からのエネルギー回収量 (所内利用を除く)	余剰電力売却量	6,015 千 kWh	6,408 千 kWh
	余剰蒸気売却量	4,573t	10,412t